

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	上水道事業(創設第7期)				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	水道環境部	課等名	水道課		包含する細々目	70	4	1	1		99	
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり											
施策	45 居住基盤の向上											
実施区分	継続	会計	水道	環境調整会議		不要	関連計画条例等		水道法 飯田市水道条例			
		事業期間	12	年度～	20	年度						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	上水道区域内で水道水の供給を受けることが出来ない地域の市民	未普及区域内戸数(戸)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			565	495		
	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度				
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
上水道区域内 未普及区域の解消をすることにより、市民生活の向上を計る。	成果達成度 = 新規加入戸数	18目標	70	最終目標	20	
		18実績	70	19目標	70	↑
		23目標	70	23実績		最終目標達成年度
		18目標		最終目標		
		18実績		19目標		↑
		23目標		23実績	最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	上水道区域内の配水管の布設されていない区域へ配水管布設工事を実施し、未普及区域の解消を図る。 全体計画延長 75～200mm L = 40,000m	配水管布設工事 75～200mm L=3,421m 消火栓設置 24基 (他事業との調整により、事業費の縮減を図る。)	配水管布設延長(m)	3421
		18年度の実績		
		配水管布設工事 75～200mm L=2,850m 消火栓設置 14基 (他事業との調整により、事業費の縮減を図る。)	配水管布設延長(m)	3000
		19年度計画		

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債	67,500	67,500
	その他	4,700	4,700
	一般財源	2,800	2,800
事業費計(A)	75,000	75,000	
人件費	正規職員所要時間	18年度 1,000	19年度 1,000
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	3,576	3,576
	トータルコストA + B	78,576	78,576

特定財源内訳や補足事項	上水道事業債
-------------	--------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	快適に暮らし過ごすことができるようになると共に、飯田市全体の普及率の向上が計れ、飲料水の安定供給がなされる。	上水道普及率(%)	現状値		19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
上水道区域内の未普及区域の解消と水道水の安定供給を図る。	上水道の普及率も98%となっているが、今後、土地利用計画等との整合が必要である。	未普及地域の住民及び議員から強い要望がある。

### 【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がある (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) 統合不可能 (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)？	(評価) 必要ある (その理由)		効果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 可能 (その理由)
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)

### 【Plan】改革改善

<b>今後の事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	<b>実施年度</b> <input type="text"/>	<b>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</b> 道路改良、新設工事・下水道工事等と一括入札により発注し、工事費の削減と、市民への工事による影響を最小限にとどめる。長期整備計画、土地利用計画と整合を図る。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	長期整備計画、土地利用計画との整合をはかる。他部署との情報交換と連携による整備計画の立案実施。	

#### 【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がある	(2) 必要性な場合の実施事由	2- その他、必要が生じたとき
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	低振動、低騒音型の重機の使用		

#### 【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	